



～地域とともにある学校をめざして～

# 鯨コミ

R6年度 CS通信No.9 R6.11.20



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

## 舞戸小学校第2学年校外学習(役場) 10/15



舞戸小学校第2学年では、グループで校外学習に出かけ、そのうち、児童3名が、学校支援ボランティアの井上さんと一緒に役場を訪問しました。担当の岩谷さんから役場の説明を受けた後、いろいろな質問をしました。

- ①子どもに関係する仕事は、どんな仕事ですか。
- ②何時から何時まで働いていますか。
- ③どんな気持ちで仕事をしていますか。
- ④うれしいときはどんな時ですか。
- ⑤協力して仕事をするのはどんなときですか。

岩谷さんは、児童一人一人の質問に丁寧に答え、児童は、質問の回答を学習シートにまとめていきました。

学校支援ボランティアの井上さんは、児童の安全確保とともに、質問に対する回答を、わかりやすく解説する等の支援を行っていました。

役場への訪問が終わると、児童は、大きな声でお礼のあいさつをして帰りました。

## 西海小学校全校児童対象読み聞かせ(11/15)



西海小学校読み聞かせグループ「さざなみ」が舞戸小学校読み聞かせグループ「ピース」と合同で全校児童に読み聞かせを行いました。

おもちゃを食べたねずみが力をつけてすもうをとった「ねずみのすもう」、大型絵本のクリスマスのお話「くまのゴールデンくん」、人形劇「ウクライナ民話 手袋」の3話を演じました。

特に、人形劇は、6人で役割分担を決めて、動物役と読み手を行い、たいへん迫力のある人形劇となりました。また、人形劇に使った動物と動物が入る大きな手袋が手作りで、時間をかけて制作していることがわかりました。

子どもたちに感想を聞くと、

「いろいろな動物が大きさ順に出てきたのが面白かった。」「熊さんが手袋に入ったところが面白かった。」「おおかみに全員食べられると思ったが、食べられなくてよかった。」

と、満足した顔で話していました。

## R6年度CSタウンミーティング開催(11/9)



テーマは、「地域の文化や祭りを伝承するために、学校と家庭・地域は、どのような協力をしていけばよいか」で、地域の様々な立場の方からご意見をいただき、地域の文化や祭りの伝承について考えました。

特に、来年は、白八幡宮大祭が8年ぶりに開催されるとあって、参加者から様々な課題と課題解決に向けてできること(アイデア)が出されました。

今回の参加者は学校運営協議会委員、鯨ヶ沢地区町内会、教育委員会委員、社会教育委員、

教職員、PTA、鰯ヶ沢地域婦人団体連絡協議会、教育委員会職員等 47 名で、最初、5つのグループに分かれて話し合い、最後にグループごとに発表し、全体で交流しました。



参加者から出た課題と課題解決に向けてできること(アイデア)は、以下の通りです。

#### ◎課題となっていること

- (1) 担い手不足
- (2) 組織。仕組みに関すること
- (3) 情報不足

#### ◎課題解決に向けてできること(アイデア)

##### (1) 担い手不足

〈学校・家庭・地域でできること〉

- ・ふるさと学習や体験活動を継続する。
- ・小中高連携して練習する。
- ・鰯ヶ沢地区以外の地区の協力を得る。
- ・子どもと共に家庭がボランティアとして協力する。
- ・参観日を使って、学習会を子どもと保護者が行う。
- ・鰯ヶ沢甚句のように運動会で踊る。
- ・小学校のクラブ活動を利用して練習する。
- ・練習した踊りを町民文化祭等で子どもたちが披露する。

〈行政・関係機関でできること〉

- ・婦人団体、老人クラブ等協力してくれるあらゆる団体に声をかける。
- ・山車の解体や組み立てに手間がかかるので保管場所があれば良い。
- ・白八幡宮保存会(仮)を結成する。
- ・SNSの発信を行う。
- ・ボランティアを広く募集する。(大学生を含めて全国的に)

##### (2) 組織、仕組みに関すること

〈学校・家庭・地域でできること〉

- ・町内会の連携を図る。
- ・教職員に異動があっても、祭りに対するモチベ

ーションを上げていく。

〈行政・関係機関でできること〉

- ・全体がわかる組織作りを行う。
- ・資金の確保(募金、クラウドファンディング等も活用して)を行う。
- ・観光の目玉としてのアピールや宣伝をする。
- ・踊りを一つに統一する。(町で一つにする。)  
⇒踊りや囃子を統一することで、各小中高単独で練習したり、連携して練習したりできる。
- ・毎年、披露の場を作る。(祭りは4年に1回でも、伝承のためには、毎年披露の場を設ける。)
- ・実行委員会に各校校長も入る。(学校が何をどのように協力していけばよいのか明らかにする。)
- ・お盆の暑い時期の実施を変更できないか検討する。  
⇒参加、協力者を増やすためにも暑さ対策は必須である。

#### (3) 情報不足

〈学校・家庭・地域でできること〉

- ・トイレを利用できる家や施設を確保し、周知する。

〈行政・関係機関でできること〉

- ・文化や祭りのパンフレットを作成する。
- ・各地区(特に、鰯ヶ沢地区以外)に出向いて説明する。
- ・条例化等の働きかけを行う。(白八幡宮大祭が鰯ヶ沢町の祭りであることを示す。)
- ・山車の常設展示(山車小屋で展示)を検討する。



今回のCSタウンミーティングで話し合われた課題解決に向けてできること(アイデア)は、地域の文化や祭りを伝承するための貴重な意見です。学校運営協議会としては、今回の数々の貴重なご意見を参考として、地域の祭りや文化を伝承するために、今後も協議を続けていきたいと思っております。

また、CSタウンミーティングで話し合われた内容については、鰯ヶ沢町や祭り実行委員会の方にも報告したいと考えています。